

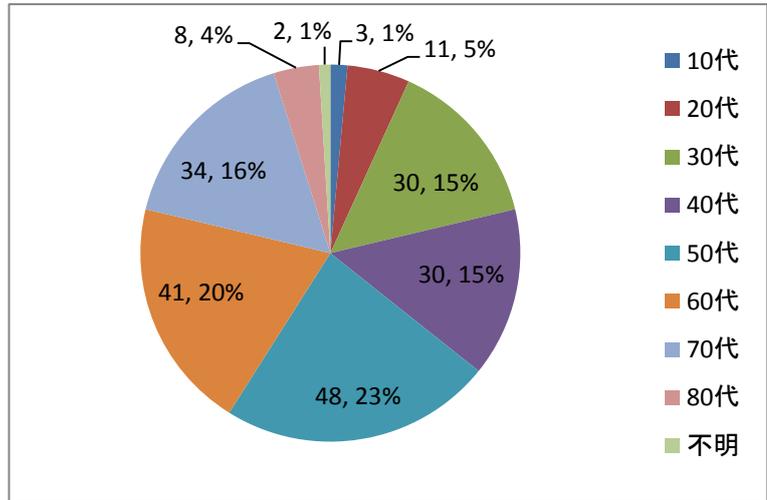
シンポジウム 参加票より

【1】参加者総数 207名 (内訳) 男性 53名 女性 153名 記入なし 1名

【2】年代別

	合計	内訳		
		男性	女性	不明
10代	3	1	2	
20代	11	2	9	
30代	30	12	18	
40代	30	9	21	
50代	48	11	37	
60代	41	9	32	
70代	34	7	27	
80代	8	2	6	
不明	2		1	1

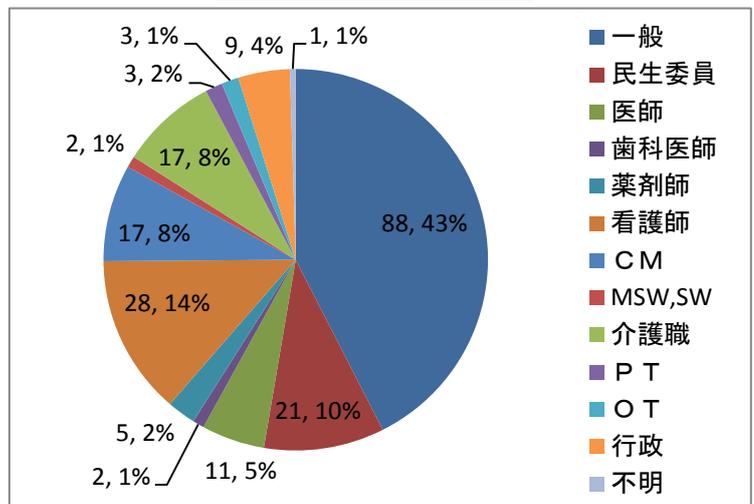
参加者の年代別割合



【3】住所別

	合計	内訳		
		男性	女性	不明
東区	164	40	124	
博多区	6	0	6	
中央区	5	2	3	
南区	3	1	2	
城南区	2	2	0	
早良区	4	1	3	
西区	3	2	1	
北九州市	3	1	2	
古賀市	2	2	0	
太宰府市	1	0	1	
糟屋	4	2	2	
新宮	1	0	1	
那珂川	1	0	1	
神奈川県	1	0	1	
その他	6	0	6	
不明	1			1

参加者の職種別割合



【4】職種別

	合計	内訳		
		男性	女性	不明
一般	88	21	67	
民生委員	21	2	19	
医師	11	11	0	
歯科医師	2	2	0	
薬剤師	5	0	5	
看護師	28	0	28	
CM	17	2	15	
MSW, SW	2	0	2	
介護職	17	8	9	
PT	3	2	1	
OT	3	1	2	
行政	9	4	5	
不明	1			1

福岡東在宅療養シンポジウム 終了時アンケート (H26年11月29日)

アンケート回収 147/207 回収率: 71.0%

あてはまるものに○をつけてください。

1, 性別 男(35) ・ 女(106) ・ 不明(6)

2, 年代 20代(10) 30代(25) 40代(17) 50代(34) 60代(29)
70代(26) 80代(3) 不明(3)

3, このシンポジウムに参加いただいた動機をお聞かせください？

- 1)在宅介護に関心があるから (43)
- 2)家族に介護が必要な人がいるから (17)
- 3)将来の介護に備えて (36)
- 4)現在,在宅介護を検討しているから (3)
- 5)自分の仕事に役立てたい (66)
- 6)その他
 - ・シンポジウムに会社のスタッフも関わっているから。親がでているから。
 - ・サービスを提供する職に居るから。ケアマネとして。・介護事業勤務しているから。
 - ・在宅介護を終えた。経験したから。 ・自宅で父を看取ったから。
 - ・知人の紹介で。
 - ・町内のボランティア
 - ・町内で認知症カフェを立ち上げ中。知識を収集したい。
 - ・ケアマネさんからの案内。・関係者からのお誘いで参加。
 - ・今要介護1で,自宅で週2回ヘルパーさんに来てもらい掃除・ゴミだし・食事作り支援を受けている

4, 在宅介護の実際について理解できましたか。

- 1)非常に理解できた (73)
- 2)理解できた (56)
- 3)あまり理解できなかった (2)
- 4)理解できなかった (0)
- 5)無記入 (16)

5, 寸劇への感想はいかがですか。感想等があればご自由にお書きください。

- 1)分かりやすかった (112)
- 2)分かった (22)
- 3)やや分かりにくかった (3)
- 4)分からなかった(0)
- 5)無記入 (10)

感想 【内容などへの感想】

- ・在宅療養についてわかりやすく説明されていて,且つ面白く見させていただきました。(42)
- ・映像,解説と面白い劇を見れ,すごくわかりやすくよかったです。(2)
- ・実際の体験を聞くことでイメージが付きやすく,大変わかりやすかったです。
- ・BGMのおかげで人の死を暗くならずに見れました。
- ・劇団のみなさんの熱意が伝わりました。(5)
- ・一郎さんもお嫁さん,ナレーター,他の方々もとても上手でした。(8)
- ・実際の在宅に関わっている先生方だからこそ,細部まで演出がとても胸打たれました。(3)
- ・脚本も役者もすばらしく,とってもおもしろい寸劇でした。
- ・担当者会議の場面が寸劇でやっていただきたかったです。

・子供っぽくて現実離れしていたので、しっくりこなかった。

【その他の感想】

・介護のことを全く分からない人でも理解できる内容でよかったです。(2)

・在宅介護に、より希望を与える寸劇でした。薬剤師も介護の中でできることは沢山あると感じました。そのような機会が増えるよう努力していきたいです。

・在宅療養を支えるサービスがよくわかった。(5)

・できるなら(他の機会でも)もう一度見たいです。(2)

・高齢者対象向けに地域での介護についての寸劇をやれたら、もっと身近に思い理解し、利用していただけるものと思いました。

・在宅療養の素晴らしさを感じます。私自身も望みます。

・紹介された介護サービスの中のどれくらいが受け入れるのか、費用も心配です。(2)

・一人暮らしの父は要介護2で在宅介護は理想とは思いますが、実際は劇の家族のありようは無理です。

・一人の介護にいかに健常者の協力が必要か、さらにその人手の数、これでは広く浅くになりそう。自立できるようまたは維持できる処置が必要ではないか。

・オンリーワンの人生:私自身もこれを機にしっかり考えていきたい。

・患者さんの状態に応じて適切なサービスを提供することで、その人らしく希望に沿った生活ができるのだと実感しました。

・居宅での生活が一番であるのがよくわかった。(2)

・たった一度の人生を自分らしく生きていくために一人で考えるのではなく、CMさんに相談しながら考えていく(こともできる?)。

6, 今後の講座で希望される内容はありますか。

1) 認知症の予防講座 (47)

2) 終末期ケアや看取りについて (63)

3) 健康づくり・介護予防のための講座 (38)

4) 認知症の診断と対応 (52)

5) その他 (3)

・一人で暮らすためのサービス

・包括の在り方

・介護の費用について

7, 本日の感想がありましたら、ご自由にお書きください。

【体験談】

・実際のご家族の体験を聞くことができ、今後の自分の仕事に生かしていきたいと思います。(2)

・在宅介護経験者の2名の方のお話を聞くと、自分も在宅介護を検討しようという気持ちになる。難しいと思っていた在宅が身近に感じられる。(2)

・介護体験談はよかったです。(10)

・お二人の体験談にはとても感動しました。やはりご家族の深い愛があってこそと思います。

【内容について】

・ご家族の立場となった考えの話が聞けてよかったです。

・内容がわかりやすく介護制度についても余り知らない方でも理解できる内容でした。

・介護保険での自己負担金の説明を加えてほしかったです。

・分かりやすかったので、母と一緒に来ればよかったですと思いました。

・ドクターが参加して下さるとはとてもステキです。

・もう少し実際の介護現場の生々しさが現れるものが良いと思う。

・実際の介護の困難さが伝わらない気がした。

・いろいろと思考を凝らしてあり、内容が深かったと思います。(3)

・佐々木先生のバイオリンの生演奏が素晴らしかったです。(6)

・休憩時間のバイオリン演奏、とてもすばらしいアイデアです。

・高齢化を前にした人々が知っておきたい内容でした。

【在宅介護についての感想】

- ・在宅での生活について一つ一つのサービス提供者の協力の大切さを改めて感じました。
- ・東区在宅ネットワークは、体験談でもありましたように、各分野のプロが患者に寄り添ってくださることを知り、少しホッと安心しました。
- ・東区で皆さんが一生懸命在宅介護に取り組まれていて頼もしく嬉しく思いました。14年母の介護をしましたが、今はいろいろ進んでいい制度があるとうれしく思います。
- ・在宅で過ごせる方は幸せでしょう。
- ・利用者に合った在宅療養サービスに出会うのは運に左右されているように思う。どの場所、地域に住んでも質の良い誠実なサービスを受けることは可能なんだろうと思った。
- ・介護サービスを受けたくても、介護認定が厳しくて思い通りにできない。
- ・本人が一番安心できる自宅での介護は理想である。しかし家庭や身内の介護者の様々な環境が違う中、どのように対応できるのか、介護者のケアも対応しつつ在宅介護を進めていました。
- ・親の面倒を子供が見るのは当たり前なのでしょうが、この高齢社会において在宅介護を頑張っている人たちに何かご褒美がほしいと思います。例えば住民税が免除になるとか具体的な支援が欲しいと思います。精神面の負担はどうにもならない訳ですから…。政治的対策は不可欠だと思います。
- ・実家の兄が右麻痺と言葉が出ない状況で退院するのですが、在宅介護の勉強になりました。
- ・小規模多機能施設の重要さ、有難さがわかりました。(2) 利用料金が気になります。一般人でも払えるのでしょうか。
- ・老後の過ごし方、介護の在り方を考えさせられ、大変参考になりました。
- ・家が一番と理解しているようで難しいと感じることが多く、周りの理解を得ることが大変です。

【ネットワークについて】

- ・在宅ネットワークの方々の熱意を感じました。ぜひネットワークの一員になりたいです。
- ・いろいろな職種の人が連絡をとって関わっていることを具体的に知ることが出来ました。(3)
- ・助け合いの社会に希望が持てそうです。(2)
- ・在宅介護、看護、医療について改めて考えさせられました。今後仕事を行う上で、スキルアップできることがないかよく考えたいです。少しでも在宅で頑張る方々の役に立てるように頑張りたいです。

【終末期について】

- ・普段生活している家で最期を迎えることはある意味当たり前でした。しかし今の時代はむずかしいこともあるかと思っています。そうでない(自宅で最期を迎える)考えの方もいるし、努力するという家族がすべてではないと思います。今は家で最期を迎える方は”幸せ”と言えるかもしれません。
- ・おばが家庭的なグループホームで最期を迎えようとしています。今回あらためて人生の最期を考えさせられました。

【その他】

- ・人生の中でとても大切なこと(今まで忘れていたこと)を思い出させてくれました。あらためて人と人との絆の大切さと感謝し合う心、生命の尊厳を考えさせてくれました。
- ・有意義な人生を送ってもらいたいと思いました。すべての人に。
- ・70代、80代の老夫婦です。現実が目の前に迫っているのを受け止めながら学習させていただきました。少し気が楽になりました。
- ・自分の今後のため、大変興味深く話が聞けたことはよかった。北九州在住なので、北九州市にもこのような取り組みがあるのか尋ねたいと思います。
- ・今後、家族や自分のために参考にしたいと思います。(3)
- ・公民館の老人大学でも見せてさしあげたいと思いました。町内のふれあいサロンでも可能であればうれしいです。
- ・現在は元気ですが、一人暮らしなので将来が不安でした。相談するところがあるので安心しました。
- ・いろいろ理解できて心配が減りました。(3)
- ・家は完全である必要はない！という話は救われます。心が軽くなりました。
- ・多くの方の支えと家族の愛で自分らしく生きたいと思います。